

広島テレビ開局60年記念事業 読響60周年特別公演

読売日本交響楽団

広島特別演奏会

名匠ヴァイグレ×辻井伸行

俊英・辻井伸行が
ベートーヴェンを弾く！

ドイツの名匠ヴァイグレが振る
《英雄の生涯》

息を呑むような美しい音色！
近年ますます芸術性を深める俊英
辻井伸行(ピアノ)

ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場など
世界の檜舞台で活躍するドイツの名匠

セバスティアン・ヴァイグレ
(常任指揮者)

読売日本交響楽団(管弦楽)

レズニチェク: 歌劇「ドンナ・ディアナ」序曲

曲目 ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 作品37
R.シュトラウス: 交響詩「英雄の生涯」 作品40

2022年 9月11日(日) 15:00開演
(14:15開場)

広島文化学園HBGホール
(広島県広島市中区加古町3-3)

〈全席指定〉S席 7,700円(税込) A席 6,600円(税込)

■お問い合わせ: 広島テレビイベントインフォメーションセンター
TEL082-567-2500(平日10:00~18:00)

4月29日(金・祝)一般販売開始

チケットぴあ Pコード 216-268・ローソンチケット Lコード 61913・エディオン広島本店PG
読響チケットセンター TEL 0570-00-4390 (10:00~18:00 年中無休) ※チケット郵送料無料

主催: reborn 共催: 読響
広島テレビ開局60年

特別協賛:



音楽は平和を運ぶ



中国電力



協賛:



ドラマティックな響き 圧倒的なスケール感！ 興奮を呼ぶ《英雄の生涯》

常任指揮者ヴァイグレが読響を率いて広島に登場！ドイツを代表する名匠がR. シュトラウスの「英雄の生涯」を披露します。ホルンの勇ましい響きに始まり、オペラを見るような手に汗握るドラマティックな音楽が展開します。ヴァイグレにとって、R. シュトラウスは最も得意とするレパートリーの一つ。煌びやかな大管弦楽を巧みにドライブさせ、会場を興奮で包み込むでしょう。コンサートマスターの長原幸太が奏でる劇的なソロにもご注目ください。

前半のベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番は、力強さあふれる一曲。国際的なピアニストとして活躍する辻井伸行がソリストを務め、華麗かつ繊細な音色を繰り広げます。ますます芸術性を深める俊英が、類まれなる才能を発揮してベートーヴェンの新たな魅力に迫るでしょう。ヴァイグレとの初共演にどうぞご期待ください。



©読響

セバスティアン・ヴァイグレ(指揮) Sebastian Weigle, Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。82年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス「影のない女」を振り、雑誌『オーバングェルト』の年間最優秀指揮者に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は「オーバングェルト」の年間最優秀オーケストラや年間最優秀歌劇場に輝くなど、その手腕は高く評価されている。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。



©Yuji Hori

辻井伸行(ピアノ) Nobuyuki Tsujii, Piano

世界を舞台に活動し続ける日本を代表するピアニスト。テレビなどにも出演し、国民的アーティストとして人気を博している。2009年アメリカのヴァン・クライバーン国際コンクールで日本人初優勝。05年ショパン国際コンクールでのポーランド批評家賞など受賞多数。アッシュケナー指揮ベルリン・ドイツ響やゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管などとたびたび共演するほか、アメリカのカーネギーホールなど世界の一流ホールでリサイタルを開き、国際的な活躍を遂げている。日本でも読響をはじめとする国内主要楽団と共演するほか、ユロフスキ指揮ロンドン・フィルやベトレンコ指揮ロイヤル・リヴァプール・フィルなどと国内ツアーを行い、好評を博している。



©読響

読響日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。2019年4月、第10代常任指揮者にヴァイグレが就任。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京・サントリーホールなどで充実した内容の演奏会を開催している。17年11月にはメシアン「アッシジの聖フランチェスコ」(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」で第1位となったほか、サントリー音楽賞を受賞。演奏会などの様子は日本テレビ「読響プレミア」で放送されている。



©読響

長原幸太(コンサートマスター) Kota Nagahara, Concertmaster

広島県呉市生まれ。東京芸術大学、ジュリアード音楽院で学ぶ。日本音楽コンクール最年少優勝。2006年から12年まで大阪フィル首席コンサートマスターを務めた後、14年読響コンサートマスターに就任。読響の“司令塔”として、オーケストラを熱くリードしている。